

『新年にかける』“音楽”と私の抱負

今回は年頭にあたって数名の方に“音楽”に関する今年の目標について、自由な観点から設定し、寄稿して頂きました。

(敬称略・順不同)

装置のリフレッシュで“リング”の聴きなまし



脇田隆夫

昨年は根戸小地域交流センター及び久寺家地区センターにて例会の本拠を移すことで懸案の例会会場問題は解決した。例会内容は発表者の工夫と熱意でソフト・ハードとも掘り下げた物が目白押しで流石であった。

ホームページの全面改訂、九月のけやきホールでのコンサートなど会員の総力を挙げての事業が続いた。新入会員にも恵まれ、オペラ鑑賞会の分科会も発足、白馬、ペンションオーディオ旅行、名曲喫茶巡り等々にぎやかに進めている間に二年もあつと言つ間に過ぎ、本年愈々創立十三周年を迎えることになった。

さて自分の装置音楽はどつだったか。月一回は山歩きをしているが、帰宅してから数日間同じ我が装置が良く鳴り、音楽が身体にしみ込んで行く。

どつやう清涼な山の空気を吸い、勤続疲労でなまけた身体がきつい登りで汗を噴出しみる活性化するのだから。鈍った気力、寝不足、一日酔いで聴く音はうるさく、きつい。演奏家にも装置にも礼を欠く。体調管理が何によりである。

さらにもう一つ、二年間お世話になった装置に敬意を表し、スピーカーBOXにワックスをかけ、螺子を締めなおす。

コード類を綺麗に拭きなおし、全てのピンプラグ端末を磨きあげる。これだけでも随分音が良くなる筈である。身体も装置もリフレッシュしたあとで大曲に挑む。ショルティのリングを三十年ぶりに聴きなまし。更に最近オークションで入手したフルトベングラーのリングも。何れもLPなので果たして気力が持つだろうか。

ファイナンチューニングでオーディオ人生の充実を



高橋敏郎

早いもので、僕がオーディオという魔物に取り憑かれていつの間にか半世紀が過ぎた。ハイティーンのころ、アンプやスピーカー・システムの自作に唯々熱中して以来、やがて社会にて商社務めとなるが、幸運だったのは60年代半ばに憧れの地ニューヨークに赴任。メインの仕事が大好きなオーディオ製品の輸出入ということもあり、当時世界のオーディオ界をリードしていた有名ブランド・メーカーの多くの創立者や開発者たちと会って、オーディオに関する卓見やら実際に鳴らしている音に接する機会を存分に得たことである。Aライツシャー、S・マラツツ、R・ポザーク、R・クック、A・シャルラン...といった先達たちで、こうした体験は、その後の僕の人生において計り知れない貴重な財産となった。

それから40余年、我がオーディオ装置も猫の目のように変遷の末、そこそこ満足いく音になり、レコード、テープ、CDなども随分と増えた。

この長い遍歴の末、現在オーディオとは音楽を聞くための単なる手段と漸く思えるようになった。し、音の良し悪しとか好みの問題も、100人いれば100人の評価が違って当たり前というのが今の僕の偽らざる真情である。

昔、五味康祐邸にお伺いしたことがある。偶々氏がドイツで購入されたスピーカー搬入のためだったが、氏の名器タンノイ・オートグラフのあまりの音の酷さにショックを受けた。しかし確か自分で述べたおられる通り、この高名な作家の難聴という事実を知って、逆にオーディオの凄さというが神髄をみる思いがした。少なくともその装置は氏にとつて最高の音で鳴っていたはずであり、本来オーディオとはそういう非常に個人的なものであつたと思う。

さて、今年の僕の抱負だが、加齢により一層悪化した現在の耳の状態でも好きなジャンルの音楽を快適に楽しめるよう五味流に先ずは我が装置をファイナンチューニングしたい。まだまだこの素晴らしい音楽の愉快の世界に存分に浸りたい一心からである。

ゆつくりと手持ちのディスク鑑賞に専念したい



佐藤久男

今年七十三才になるので平均寿命を考えると残り五年しか(も)無い。溜め込んだLP、CD、VHSテープ、TVの録画DVDなどを全て聴いたり見たりするだけでも、とても時間が足りそうにもない。CDなどは購入しなければ増えないが、TVの録画は増えるばかりで足りない。足腰が弱ってきて外出も段々億劫になってくるので、滞貨を消化するには都合がよい。

昔作成して中断している目録作成を今年は完成して検索整理に役立てたい。

昨年四月からCATVで「クラシカジャパン」を放映し始めた。二十四時間、映像付きでオペラ・コンサート・ドキュメンタリーなどが流れており、めばしい番組を撮り始めたがあつたという間にDVDが増えて千五百枚を超えた。

幻の映像・演奏が沢山あり、特にオペラなど各地の歌劇場・音楽祭など垂涎の映像が目白押しで、これらを見ないでは死ぬわけにはいかない。オペラはオペラ鑑賞会で少しづつ消化しているが、とても全部は見きれない。昨年のモーツァルト生誕二百五十年記念のザルツブルク音楽祭での全作品も未消化のまま、DVDに至っては見るより増える方が早く滞貨が溜まるばかりで八方ふさがりの状態である。

風物など映像付音楽の充実を



倉田 勲

一、例会のテーマは、従来通り映像を伴ったものが中心になります。今までは人物にスポットを当てたものが主だったけれども、これからは風物や演奏風景を楽しみながら音楽鑑賞が出来るものを加えて行きたい。

二、ナマ演奏に出かける(クラシック・ポピュラー、ジャンルを問わない)のは最低でも十回を下回らない事を目標とする。

三、暫く遠ざかっている再生装置(特にアンプ)の作成に挑戦してみる。

四、自分以外の人の再生装置の音に出来るだけ接して見聞を広める。

五、これまで、色々トライしても、不首尾に終わっていた二層DVDの作成に再度挑戦し色々実験してみる。

六、ブルーレイDVDやHDD DVD等の長短の見極めと、それを利用したソフト作りに必要な機器の入手選択の為の情報入手、情報交換を実行する。

七、例会ピンチヒッターにスムーズに対応出来るよう常に予備の資料を準備しておくようにしたい。

八、まだ完了していない手持ちレザードディスクのDVD化を終了させる。

...ただし、これは上記六との関係で従来通りの処理方法となるかそれとも新規の処理方法となるかは現在のところ未定。...

以上思いつくまま目標を掲げましたが、果たして何%成就出来るかは全く解りません。自分だけの力には限りがあり、メンバーの方々にお世話になりますが、どうかよろしくお願いたします。